ＮＰＯ法人 ネパール野球ラリグラスの会 会報誌

ラリグラス通信

2015年度号 号外
2015年4月1日発行

ご挨拶

平素はラリグラスの会に温かいご支援を賜りましてありがとうございます。
当会は１９９９年に活動を開始以来１６年に渡り、野球を通したネパールと日本の交流を目的にネパールでの野球普及活動を続けてまいりました。活動当初、ネパールの野球人口はゼロでした。また、「野球をして何になる」と現地の人たちの理解が得られないこともありました。しかし、長年の活動で環境も変わり、ネパール人初のプロ野球選手誕生、ネパール野球連盟の発足、国際大会出場などに繋がりました。

当会の活動理念は、一方的な支援ではなく共に学び合う「協働」であり、これまでも、ネパールの皆様と力を合わせながら活動を続けてまいりました。そんな中、本年３月にはネパールの野球関係者のみの手による野球大会が初めて開催されました。これは、ネパール人だけでの自立した運営を目指している当会にとって、大変嬉しいことでした。ネパール野球発展のため、ネパール野球連盟を始めとした現地の関係者は真剣に取り組んでおります。これには、昨年当会が実施した「日本・ネパール野球交流プログラム２０１４」の影響も大きいです。ネパールの野球環境は決して良くありませんが、ネパール野球関係者一同は環境を理由にして野球普及を諦めてはいけないと考えています。

さて、現地の関係者が今一番望んでいるのは野球場（多目的グラウンド）の建設です。そして、現地ではそのための調査が始まったところです。当会では３年前にもポカラで調査を行いましたが、広さが不十分などの理由からグラウンド建設は断念いたしました。今回は首都カトマンズ近郊でのグラウンド建設を念頭に置いており、ネパール野球連盟、ネパール政府など関係各位と協力しながら計画を進めていきたいと思います。また、ネパール野球関係者一同は活動当初からのオリンピック出場という夢も抱いておりました。そのグラウンドで練習を積んで、東京オリンピックの予選に挑戦し、ネパール野球を応援してくださるたくさんの皆様とその夢が共有できればと思います。

また、今後はネパール国内だけでなく、日本在住のネパール人への野球交流活動も進めてまいります。現在、東京には１万人以上のネパール人が住んでおり、阿佐ヶ谷には「エベレスト・インターナショナル・スクール」というネパール人学校もあります。ネパールの元日である本年４月１４日には学校関係者と協力して同校の子どもたちとの野球交流活動を行う予定です。日本在住のネパール人の皆さんと協力して、２０２０年にオリンピックが行われる東京からネパールに野球熱を届け、ネパール国内の野球を盛り上げていきたいと思います。

更に、本年４月より、現地野球指導者として重田大輝君をネパールに派遣いたします。派遣中は現地からの報告も行いますので、温かく見守っていただければ幸いです。この他、本年２月に当会公認パートナーとして認定したスジーワ・ウィジャヤナーヤカ氏（スリランカ）とアブドラ・バラ選手（パキスタン）につきましても応援をよろしくお願い申し上げます。

今後とも、ネパール野球およびアジア野球の発展、そして友好の輪を広めるため、皆様のご支援・ご協力をお願い申し上げます。

ＮＰＯ法人ネパール野球ラリグラスの会　理事長
ネパール野球連盟　名誉総裁

小林 洋平

ネパールへの野球指導員派遣

当会ではこれまで６名の野球指導員をネパールに派遣し、現地での野球指導を始めとした様々な活動を行ってまいりましたが、２００９年を最後に派遣を行っておりませんでした。
この度、重田大輝氏を現地野球指導員としてネパールに派遣することといたしました。重田氏には４月下旬にネパールに赴任していただき、野球指導の他、学校での野球紹介、グラウンド建設のための調査などを行っていただきます。以下、重田氏のご紹介をさせていただきます。

重田 大輝 氏

重田 大輝 （しげた ひろき）

出身：大阪府
年齢：２１歳（1993年生まれ）
略歴：
大阪市立桜宮高校 体育科卒業
＊高校在学中は硬式野球部に所属
京都外国語大学外国語学部 在学中

重田大輝氏からのご挨拶

この度第７代野球指導員に就任致しました、重田大輝と申します。

派遣にあたって、まずはこの機会を与えてくださった皆様に心より感謝申し上げます。これまでネパール野球を応援し、支えてきてくださった皆様本当にありがとうございます。私はまだラリグラスさんに携わりだして日も浅いのに、こんなにも恵まれた環境で活動ができているのは皆さんのご理解があってからこそだと心底思っています。

私は野球が大好きです。そんな大好きなスポーツを世界中のもっとたくさんの方々に知ってほしい、というのがネパールに野球指導員として行きたいと思った一番の理由です。そして“ネパールで野球を”というのにもなにか運命的なものを感じました。と、いいますのもちょうど去年の今頃、海外建築ボランティアで中間貧困層の家族と共に彼らの住む家を建てるという活動を行ったのが他でもないネパールだったからです。私はその活動を通し、ネパールが大好きになりました。

「大好きな野球を、大好きなネパールで。」

私の情熱に火が付きました。一度は選手として挫折してしまった野球と、こんなにも早く違った形で携わることができるなんて。本当に感謝の一言しかありません。
たくさんのことを野球というスポーツから学びました。まだまだ未熟者ではありますが、今の私を形成しているのは間違いなく野球で学んだことだと思います。怪我なく野球を思いっきり楽しんでもらう上で、僕が学んだことをネパールの人々に少しでも伝えることができたら、と考えています。また、自分自身も様々な事をを学んでいきたいと思います。

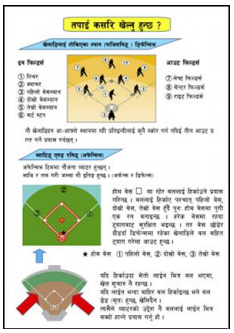
“野球から広がる笑顔の輪”“協働”を胸にこれからも活動していきますので何卒、今後ともご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

主な活動内容

・ネパール野球連盟のサポート
・ネパールでの野球指導
・ネパール各地の学校での野球紹介
・ネパールでの球場建設のための現地調査
・野球大会の開催
・関係機関等への訪問
・活動報告

＊主な活動場所は、カトマンズ、バクタプル、ポカラ

ネパール語のルールブック



当会では現在ネパール語のルールブックを作成中です。作成に当たっては重田氏がその中心的な役割を担っております。今後は、このルールブックも活用して現地での野球普及活動を進めていきます。

公認パートナー

当会は世界の野球発展、特にアジアの野球発展に貢献したいと考えております。そのために、当会はネパールのみならず、多くの国の方々との連携を行っております。

この度、当会では、その中でも特に関係が深い方々を「公認パートナー」認定し、その活動を応援していくことといたしました。以下に「公認パートナー」の方々をご紹介いたします。

スジーワ・ウィジャヤナーヤカ氏

アジア野球連盟所属国際審判員
スリランカ野球連盟日本コーディネーター

スジーワ・ウィジャヤナーヤカ氏（スリランカ）

スジーワ・ウィジャヤナーヤカ氏は、元スリランカ代表の投手で、選手を引退後は日本に留学、日本で審判員の勉強をされました。現在では、日本野球連盟の公式審判員として年間約100試合を担当、2012年の都市対抗野球大会では、外国人初の審判委員として注目されました。また、本年３月の第８７回選抜高校野球にも出場いたしました。更には、スリランカに野球道具を送る活動なども行っており、スリランカおよびアジアの野球発展に大きな貢献をされています。

アブドラ・バラ選手

06BULLS（ベースボール・ファースト・リーグ）
投手

アブドラ・バラ選手（パキスタン）

アブドラ・バラ選手（投手）は８歳のときに来日、小学４年生のときに野球を始めました。その後、高校でも野球を続け、2013年には、当会が主催した「東大阪・パキスタンＵ１６野球友好試合」にパキスタンチームのエースとして参加いたしました。

2015年、高校を卒業後、06BULLSに入団。将来はパキスタン代表のエースとしてアジア四強（日本、韓国、台湾、中国）を崩すような活躍とともに、アジアの野球界への貢献が期待されます。

学校対抗野球大会

去る３月７日と８日にバクタプルで学校対抗野球大会が行われました。大会にはカトマンズ、ポカラ、バクタプルから合わせて４校が参加し、ポカラ・ベースボール・クラブが優勝いたしました。

当会は過去にネパールで何度か野球大会を開催しておりますが、今回の大会運営はネパール野球連盟を中心として、全てネパール側の手によって行われ、画期的な大会となりました。

その他のトピック

大阪経済法科大学の
海外研修サポート

大阪経済大学の
ボランティア実習生受け入れ

フィリピンの野球教室で
各国の日本人指導者と

ＭＬＢ中国のリック・
デール氏と会談

ネパールでの野球場建設に向けて

当会は１９９９年からネパールでの野球普及活動を始めました。活動当初はネパールでは野球が知られておらず、「これがボールです」といった説明から始めました。その後、野球を通した国際交流を目的に、約１６年間に渡り活動を続けてまいりました。近年では野球人口も増え、国際大会への出場やネパール人プロ野球選手の誕生といった新たな展開も見せております。また、先輩の活躍を見て、彼らのようになりたいと思う子どもたちも増えております。

しかしながら、長年の活動において、ネパールには野球に適したグラウンドが無いことが常に問題となっておりました。ネパールでは主に学校のグラウンドなどで野球を行っておりますが、グラウンドは狭く、凸凹で、選手は思い切ったプレーができません。また、通行人や牛にボールが当たる危険もございます。今後のネパール野球発展のためには、安心して野球ができるグラウンドの整備が不可欠であり、これは当会やネパール野球連盟、そして多くのネパール野球関係者が切望するところです。昨年の「日本・ネパール野球交流プログラム２０１４」や本年３月にバクタプルで開催された「学校対抗野球大会」の影響もあり、その願いは益々大きなものとなってきております。また、グラウンドが整備されることにより、選手の技術向上、野球大会の開催、指導者の招聘など、活動の幅が広がるものと考えております。

このような状況に鑑み、私たちネパール野球関係者一同は、ネパールでのグラウンド建設を進めていくことといたしました。但し、費用や有用性等を考慮し、本格的な野球場というよりも、多目的の運動広場のようなものを作りたいと考えております。

グラウンド建設のためには、費用や用地を始めとして多くの課題が存在いたします。関係者一同が力を合わせて計画を進めてまいりたいと思います。計画を進めるに当たり、先ずは現地調査を行った上で、建設用地の選定や費用の見積もり等を行ってまいります。本件に関しましては、今後、随時ご報告申し上げていきますので、皆様のご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

関係者の声

ネパール野球連盟会長
プラディープ・シュレスタ氏

ネパールに野球場を作ることは私たちの夢であり、それを目指しています。決して簡単な事ではありませんが、みんなで力を合わせて、夢の実現に向かって努力していきます。

ネパール野球ラリグラスの会
副理事長　赤松 弘章

ネパールでの野球交流を始めた当初から、ネパールに良いグラウンドがあればと常に思っていました。ネパール野球が盛り上がりを見せている今、その時期が来たと思います。

ネパール代表チーム主将
イッソー・タパ氏

ネパールのグラウンドは良くありません。ネパールの子どもたちのためにも、何としても、グラウンドを作りたいです。皆さん、応援お願いします。

Ｕ１５選手
サグン・キチャジュ君

去年日本に行ったとき、奇麗なグラウンドで野球ができてとても嬉しかったです。ネパールにもあんなグラウンドが欲しいです。

編集・発行：ＮＰＯ法人 ネパール野球ラリグラスの会

〒536-0017　大阪市城東区新喜多東1-10-22-705
電話：090-3277-3145　　ＦＡＸ：06-6537-4123
http://www.nepalbaseball.net/　E-mail: info@nepalbaseball.net